

二・二六事件 80 年

真相 二・二六事件

—日本最大のクーデターの実像に迫る—



「戒嚴司令部の警備」アサヒグラフ臨時増刊『二、二六事件畫報』（1936 年／日比谷図書文化館 特別研究室所蔵国塩コレクション）

2016 年 2 月 26 日は雪の東京を血で染めた事件が起きてから 80 年になります。事件は様々な文学や映画で採り上げられてきましたが、この講座では、どうしてこのような事件が起きたのか、青年将校は何を目指していたのか、鎮圧はどのように行われ、その後の歴史にどのような影響を与えたのかなど、事件の全貌を明らかにしていきます。

講師 筒井 清忠（帝京大学文学部長・東京財団上席研究員）

1948 年生まれ。大分県出身。京都大学大学院文学研究科博士課程単位修得退学。文学博士。京都大学文学部教授を経て現職。主著に『二・二六事件と青年将校』（2014 年／吉川弘文館）、『二・二六事件とその時代』（2006 年／ちくま学芸文庫）、『昭和十年代の陸軍と政治』（2007 年／岩波書店）など。



開催概要

- 日時：2016 年 2 月 26 日（金）19:00～20:30（受付 18:30～）
- 会場：地下 1 階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200 名（申込順）
- 参加費：1,000 円
- 申込方法：来館（1 階受付）、電話（03-3502-3340）、E メール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。